

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の取り組み	プログラムはなく、子ども一人一人がやりたいことを叶えられる環境づくりを行っている。 子ども一人に対して支援者は一人もしくは二人とし、丁寧な関わり、対応を行っている。	発達段階の見極め、継続的な支援が行えるよう、スタッフのスキルアップ、療育の質の向上を目指し、担当者以外の目線や定期的な研修を引き続き実施していく。
2	職員数の確保	毎月の全体会議のみならず、子どもの情報共有を都度スタッフ間で行い、担当者不在時に対応できるようにしている。 個別では、1対1or2(支援者)、小集団では最大、5対3(支援者)のスタッフ配置にしている。	何かあった時にも相談、対応ができるよう、話し合う時間やカンファレンス確保に努める。
3	未就学児の小集団の実施	午前中の時間枠を設け、のびのびと動ける、遊べる環境を作っている。 今年度は、3対3or4(支援者)で対応し、公園遊びも叶えられる人的、物的環境を整え、安全面に配慮している。	保護者の要望に可能な限り応え、送迎も継続していく。 必用に応じて、捕食も設けることも継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎枠が限られている	療育を優先としているため、送迎に出れるスタッフの確保が難しい。	療育時間設定の変更や専属ドライバーの雇用を検討する。
2	集客PRが控えめである	外部に向けての営業力が弱く、HPやSNS等の発信を行っていない。	定期的に外部との共有を行い、必要に応じてお知らせチラシなどを作成し配布します。
3			